

小学生向け 約 19 分

自転車に乗ったとき

きちんと止まろう！よく見よう！

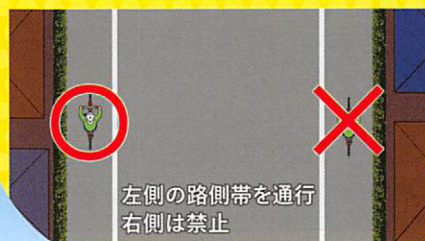
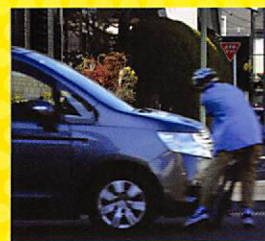
ヘルメットも忘れずにね



中学生・高校生向け 約 18 分

その自転車の乗り方では事故になります

ヘルメットもきちんとかぶってね

左側の路側帯を通行
右側は禁止

一般向け 約 20 分

自転車の安全 ここにも注意

家族全員がヘルメット着用



自転車安全利用五則

5. ヘルメットを着用

(全ての自転車利用者が対象)



自転車保険等への加入

保険等加入を義務化する自治体も増加



自転車の点検・整備

企画意図

政府は 2022 年 11 月 1 日に「自転車安全利用五則」を 15 年ぶりに改定しました。

その背景には、自転車は脱炭素社会で期待される移動手段であること、レジャーやスポーツで楽しむ人が多かったこと、近年はコロナ禍で密を避け自転車で通学・通勤する人が増えたことなどがあります。利用者の増加に伴い、自転車事故の死傷者数も増加し続けています。自転車事故では転倒した際に頭を打つケースが多く、死者の半数が頭部に致命傷を負ったとのデータもあります。

そこで改正された道路交通法では、自転車に乗る全ての人を対象にヘルメット着用が努力義務となりました。この自転車の交通安全シリーズ（小学生向け、中学生・高校生向け、一般向け）は改定された自転車安全利用五則に準拠し、ヘルメットの必要性を強く訴え、自転車の交通ルールとマナーをしっかりと身に付けてもらうことの重要性を示します。

(旧) 自転車安全利用五則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
夜間はライトを点灯
交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

15年ぶり
に改定

(新) 自転車安全利用五則

- ① 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用

小学生向け

約19分

自転車に乗ったとききちんと止まろう!よく見よう! ヘルメットも忘れずにね

自転車は手軽で便利。小学生にとっても身近な乗り物だ。しかし正しい乗り方をしないと、自分や他人を傷つけることになる。事故に遭わない、起こさないことを心がけ、安全に自転車に乗ろう。

○自転車は「軽車両」

原則車道の左側を走るのが決まりだが、13歳未満の子どもは歩道を走ることが認められている。歩道を走るときは車道寄りをすぐに止まれるスピードで走り、歩行者がいる場合は一旦止まる、自転車を降りて歩くなど、安全を心がけなければならない。

○ヘルメットはしっかりかぶる

事故で亡くなる人の多くは頭をぶつけるケース。正しいヘルメットのかぶり方を、実験を通じて見ていく。

○安全のために必ず守らなければいけないルール

交差点では信号と一時停止を守って、安全確認。暗くなったら早めにライトを点ける。二人乗り、横に並んで走る、イヤホンで音楽を聴く、スマホを触りながらの運転は禁止。

■ライブラリー価格 本体 ¥ 70,000 (税込 ¥ 77,000)

■学校価格 (小学校のみ) 本体 ¥ 35,000 (税込 ¥ 38,500)

中学生・

高校生向け

約18分

その自転車の乗り方では事故になります ヘルメットもきちんとかぶってね

自転車は通学や普段の生活でも使用されている、身近な乗り物だ。しかしルールやマナーを守らなかったり、危険な乗り方による自転車事故は後を絶たない。

○自転車は「軽車両」

自転車は法律上「軽車両」に分類される車の仲間。守るべきルールがあり、違反した場合の罰則も設けられている。

○自転車運転者講習制度

道路交通法が改正され、危険なルール違反を繰り返す自転車運転者に対して講習制度が施行された。対象は14歳以上の全ての自転車運転者。中学生、高校生も厳しく取り締まられる。

○交差点での注意事項

交差点では二段階に分けて右折しなければならない。車の死角やスピードの出すぎにも要注意。

○危険な運転で事故を起こしたら

高額な賠償金が発生したケースも多く、未成年であっても責任逃れはできない。「たかが自転車」と軽く考えていると、大きな代償を支払うことになるかもしれない。

■ライブラリー価格 本体 ¥ 70,000 (税込 ¥ 77,000)

■学校価格 (中学校・高校のみ) 本体 ¥ 35,000 (税込 ¥ 38,500)

一般向け

約20分

自転車の安全 ここにも注意 家族全員がヘルメット着用

通勤、通学、買い物にと、すべての人にとって身近で便利な乗り物である自転車。利用者は増え続けている一方で、自転車による事故も増加しており、改めて安全な利用方法が求められている。

○企業での取り組み

自転車利用を推奨する企業が増えている一方、万が一事故を起こすと、企業の社会的な信用の失墜にもつながりかねない。改めて交通ルールを学ぶ講習会などがおこなわれ、社員の安全意識の向上と実践を目指している。

○電動アシスト自転車

こぎだしが軽く、普通の自転車との違いに慣れるまでバランスがとりづらい事もあり、注意が必要だ。

○子供乗せ自転車の注意点

転倒防止のため平らな場所でスタンドをたて、ハンドルを固定してからおこなう。たとえ短時間であっても幼児を乗せたまま自転車から離れたりしない。

○ヘルメットは必ずかぶる

ヘルメットの有無で頭部へのダメージには大きな差が出る。ヘルメットをしておらず、子どもが死亡したケースも多い。

○保険への加入

万が一の事故に備えて、自転車保険に加入することは重要だ。保険への加入を義務化する自治体も増えてきており、今後さらに拡大するものと考えられる。

■ライブラリー価格 本体 ¥ 70,000 (税込 ¥ 77,000)

監修 一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

企画・制作統括 高木 裕己

脚本 佐々木利男

監督 保母新之助

撮影 笠原晋

制作・著作 株式会社 映学社

■DVD [カラー] ■2023年・映学社作品

○ 株式会社映学社が製作する映像、DVD、ロゴ、イラスト、チラシ、ウェブサイト等全ての著作物の著作権は、映学社もしくは関係権利者の著作権者に帰属しています。これらの著作物を権利者の許諾を得ずに、複製、転載、改変、譲渡、配布、公衆送信（送信可能化を含む）、放映等に利用することは原則として法律により厳しく禁止されています。

○ 本チラシで紹介しているDVDは、DVDビデオディスクです。CD-ROMプレイヤーではご覧になれません。必ず市販のDVDビデオプレイヤーでご覧ください。

なおDVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。詳しい再生上の取扱いについては、ご使用になるプレイヤー、テレビなどの取扱説明書をご覧ください。

●お問い合わせ・お買い上げは

(株) オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101